

伝統を未来へつなぐ活動



岩崎獅子舞保存会
池ノ谷 潔美 会長

「岩崎獅子舞」を大切に思うことは
自分たちの根を大切にすること

岩崎獅子舞にはこどもたちが担う舞があるため、まずは獅子舞をこどもたちに知ってもらうことが重要です。

泉小学校では、授業の一環として「名人に学ぼう」をテーマに、3年生が岩崎獅子舞を学習しています。獅子舞の歴史や保存会による獅子舞の実演、棒・鼈・太鼓体験など、こどもたちに人気のある授業です。授業後には、毎年10月に行われる奉納獅子舞に、演者としてこども



後継者不足が叫ばれる昨今。両保存会ではメンバーを募集しながら、次の世代に守り伝えていく活動も進めています。大切な担い手であるこどもたちにどう継承していくかなど、両会長に伺いました。

たちに参加を募るのですが、多くの子は小学校卒業まで続けてくれます。

小学生の頃にこの授業を受けた世代が大人になり、獅子を舞う若い世代が育ってきています。一度離れても「自分のルーツに地域の宝がある。地域の誇りを絶やさず次の世代につなぐ」という思いで戻ってきてくれる方たちや、指導者の熱意・協力があり、継承していくことができます。



岩

重

とろざわまつりの山車の上のお囃子は、すべて所沢で生まれた古谷重松が編み出した「メイドイン所沢」であることを多くの人に知ってほしいです。お囃子クラブでの指導や、お囃子体験会を通して、小学生と交流を図っています。学校から「重松流祭ばやし」に関する授業の依頼もあり、3年生を対象にとろざわまつりや山車の話をするこどもも。

私が所属する星の宮囃子連では町会と



連携して、こどもたちにお囃子の魅力を感じてもらえるよう、太鼓演奏や山車の体験の場を設けています。さらに、「やってみたい」と思ったらすぐに練習に参加できるよう、毎週練習の機会をつくっています。

山車の上でのお囃子で、自分たちが主役になれる特別感をぜひこどもたちに感じてほしい。魅了されること間違いなしです。



所沢生まれの重松流で、主役で踊る感動をこどもたちに知ってもらいたい



重松流祭ばやし保存会
小峯 勝次 会長

もっと知りたい!観てみたい!

何百年にもわたって守り伝えられてきた、所沢の宝。「もっと伝統芸能を知りたい!」と思った方は、ぜひ生の演奏を体感してみても。

市民ホール展示

2月15日(日)に開催する「伝統芸能発表会」に向けて、市指定無形民俗文化財の展示を行います!

■ 1月26日(月)～2月6日(金)

場 市役所 1階市民ホール

☎ 岩崎獅子舞・重松流祭ばやしの解説や写真のパネル展示



伝統芸能発表会

2年に1度開催している伝統芸能発表会。この機会に所沢市の伝統芸能をぜひご覧ください!

■ 2月15日(日)午後0時45分から(0時15分開場)

場 市民文化センターミューズ

◎会場に直接お越しください。



▲詳細はこちら

動画でも楽しめる!

「気になるけど、会場まで行くのは…」という方は、まずは動画でお楽しみください♪伝統芸能の魅力が存分に詰まった動画となっているので、これを機に伝統芸能の虜になってしまうかも!?



▲所沢市伝統芸能発表会はこちら



▲重松流祭ばやし紹介動画はこちら



「楽しいよ～」